

総合的な学習の時間 単元プラン例 第6(5)学年【探究課題】防災のための安全なまちづくりとその取組

【単元名】 守ろう自分やみんなの命！災害から自分たちの身を守るための行動の仕方を考えよう（全70時間）

【単元の目標】 防災のための安全なまちづくりを目指した活動を通して、地域の防災とそれに携わる人々や組織について理解し、自分たちの地域の防災の在り方について考えとともに、自分たちの生活を防災の視点から見直し実践しようとするようにする。

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①概念的な知識</p> <p>地域の人々の命を守るため、地域の人々がそれぞれの立場や状況に応じて、互いに協力して災害の防止に努めていることを理解している。</p>	<p>①課題の設定</p> <p>地域の防災の在り方や防災意識について、理想との隔たりから課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考えている。</p>	<p>①自己理解・他者理解</p> <p>地域の防災の在り方に関心をもち、自分の生活を防災の視点から見直したり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりしながら、自分の意思で課題を解決しようとしている。</p>
<p>②技能</p> <p>地域住民等の防災意識を捉えるために、アンケートによる調査を相手や場面、目的に応じた適切さで実施している。</p>	<p>②情報の収集</p> <p>地域における自然災害の状況や地域住民の防災意識を捉えるために必要な情報について、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。</p>	<p>②主体性・協働性</p> <p>防災意識を高め、生活に生かす必要性を伝えるために、防災に関わる人々や友達などと協働して探究活動に取り組もうとしている。</p>
<p>③探究的な学習のよさの理解</p> <p>自分たちの生活と防災のあり方が密接に関わっていることへの理解は、地域の防災とそれに関わる人々との関係を探求的に学習してきたことの結果であると気付いている。</p>	<p>③整理・分析</p> <p>地域住民の防災意識を高める活動を進めるために、収集した情報や調査結果を比較したり、多面的に検討したりして、理由や根拠を明らかにして具体的な活動を決定している。</p>	<p>③将来展望・社会参画</p> <p>自分と防災や関係機関とのつながりに気づき、防災に関する地域の活動に参加するとともに、自他の命を守るためにできることを考え行動しようとしている。</p>
	<p>④まとめ・表現</p> <p>防災意識を高め、自分たちの生活を見直し、行動化を図ることに向けた自分の考えを、表現の目的に応じて表現方法を選択し、伝える相手を踏まえて分かりやすくまとめている。</p>	

【キーワード】

過去の災害の様子、防災備蓄倉庫、自治体の取組、避難計画、避難訓練、避難所での生活（衣食住）、けがの防止・手当、防災マップ、防災に関する講習会、自助・共助・公助、自宅での避難、外での避難、施設内での避難、高齢者、障がい者、幼児、防災意識 など

【関連する各教科等の学習】

国語：話すこと・聞くこと、書くこと（学習成果のまとめ・発信、情報収集等の場面において活用・発揮）

社会：我が国の国土と自然環境（5年）、国や地方公共団体の政治（自然災害からの復旧や復興を選択：6年）

理科：流れる水の働きと土地の変化（5年）土地のつくりと変化（6年）

保健：けがの防止

特活：心身ともに健康で安全な生活態度の形成 など

総合的な学習の時間 単元プラン例 第6(5)学年【探究課題】防災のための安全なまちづくりとその取組

【指導と評価の計画】（70時間）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 地震や津波などの災害から命を守るための避難方法を考えよう（17時間）	・避難訓練の様子や過去の地震や津波など災害の情報等から、自分たちの命を守るための取組の必要性を感じることができるようし、自分たちの生活経験を手掛かりに、地図上で避難経路を確かめたり、ハザードマップ等で地域の現状を捉えたりする。		②		・調査シート
	・地図上の避難経路を出し合う中で、自分の居場所や道路の状況などの不確実な情報をどのように扱うか考える。			①	・振り返りカード
	・命を守るためには、専門家の意見などを頼りに自分の目で確かめる必要があることに気づき、次の学習の計画を立てる。		①		・調査シート
2 安全マップを作って、全校のみんなに知らせよう（18時間）	・どのような安全マップを作れば、全校のみんなの役に立つのか問いをもち、専門家のアドバイスを生かして現地調査を行い、安全マップに必要な情報を得る。			②	・行動観察 ・調査シート
	・現地調査をして分かったことを整理する。 ・低学年にも分かりやすい、どこにおいても安全に避難できる、という観点から情報を精選する。	②			・調査シート
	・自分たちで決めた内容を安全マップにまとめ、全校児童に提示して安全な避難方法や経路を伝える。		④		・安全マップ ・振り返りの記述
3 地域の人々の命を守るために、自分たちが防災名人になろう（30時間）	・家族や地域住民の防災意識を調査し、自分たちがその意識を高めるきっかけになりたいという願いをもち、防災意識に関するアンケートや、未然の備えや避難後の生活について調べる。		②		・調査シート
	・防災意識に関するアンケート調査の結果を整理して、地域の防災意識の傾向を捉える。 ・防災意識を高めるための安全マップの活用方法や、命を守るための取組について、視点を決めて考える。	①		③	・振り返りカード
	・防災意識を高めるための取組について考えたことを交流しあい、自分たちの取組のよさや問題点を見出す。 ・必要に応じて専門家から助言を得て、見直しと改善を繰り返すようにする。		③		・振り返りカード
4 防災名人として、自分たちが考えたことを地域の人たちに発信しよう（15時間）	・地域の人々の命を守ったり、防災意識を高めたりするための内容や方法を考える。		①		・振り返りカード
	・発信する相手を焦点化して、その方々にあった防災意識を高めるための内容を選択する。 ・情報発信の在り方について、専門家から話を聞いたり、自分たちで調べたりする。	①			・振り返りカード
	・家族や地域の方に向けて、自分たちの学習成果を発信する。 ・地域の方と一緒に、避難経路を確認するなどして学習成果を表現する。			③	・表現物 ・行動観察